

施策番号	0103		
施策名	ごみを出さない循環型社会の構築		
概要	循環型社会の構築のために、ごみを出さない2Rの定着、ごみの分別や適正な排出、資源物の回収及び廃棄物発電など、ごみの減量と再利用を促進する。		
担当局・部室	環境政策局・循環型社会推進部、適正処理施設部	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に関する主な分野別計画等	京都市循環型社会推進基本計画		

施策の評価

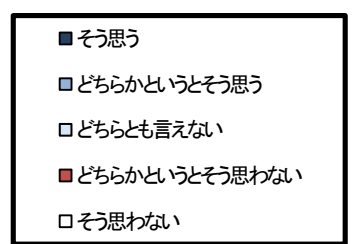
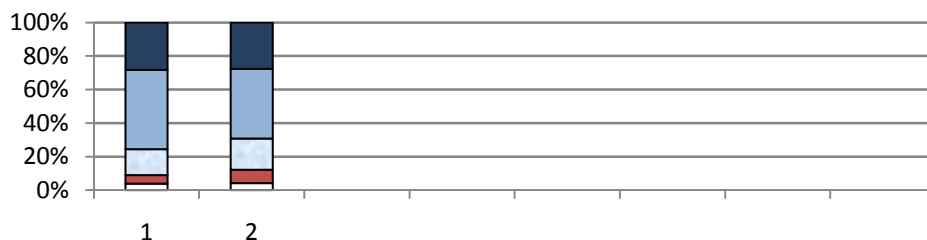
1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 一人一日当たりのごみの排出量(グラム)	-	a	924	906	903	99.7%	b	1.00
2 再生利用率(%)	-	a	20.3	21.3	22.9	93.0%	b	1.00
3 ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)	-	a	329	338	340	99.4%	a	1.00
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
		a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。	161	269	88	29	22	569	a	
	28.3%	47.3%	15.5%	5.1%	3.9%			
2 ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。	159	239	107	46	24	575	a	
	27.7%	41.6%	18.6%	8.0%	4.2%			
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							a	



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					23年度	A
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	a		
(重み付けの理由) ごみの発生抑制や再利用、資源物の回収及びエネルギー回収等、すぐには市民の実感につながりにくい部分が多いため、客観指標に重みを置く。						年度	-
(原因分析) ・家庭ごみは、様々な減量・リサイクルの取組を行ったが微増(+0.3%)に転じた。事業ごみは、業者収集ごみ処分手数料の引き上げ、剪定枝や刈草等の資源化可能なごみの民間資源化施設への誘導等の施策を実施したことにより減少(△4%)し、本市のごみの受入量合計は減少(△2%)したため、一人一日当たりのごみ量は18グラム減少したが、目標値には届かなかった。 ・資源物回収拠点の拡大等により再生利用率は向上したが、目標値には届かなかった。 ・本市のごみ焼却量は減少したものの、主に夏季の蒸気使用を抑え、より多くの蒸気を発電に用いるなどの取組を行った結果、前年度と比較して、ごみ1トン当たりの発電量が増加した。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		23年度決算額	24年度予算額		
1	使用済てんぷら油回収事業	45,269	44,599	良い	環境政策局
2	コミュニティ回収	49,824	54,352	良い	環境政策局
3	リユースびん(リターナブルびん)等の拠点回収	21,048	30,160	普通	環境政策局
4	蛍光灯拠点回収事業	13,585	14,257	かなり良い	環境政策局
5	生ごみ堆肥化等の活動支援	13,351	19,457	普通	環境政策局
6	資源物回収拠点の設置	80,186	86,490	かなり良い	環境政策局
7	市民の美化活動支援(防鳥対策)	18,653	22,882	良い	環境政策局
8	ごみ減量・分別普及啓発経費(総合環境情報誌の作成)	15,395	34,380	良い	環境政策局
9	ごみ減量推進会議の活動の推進(京都市ごみ減量推進会議運営)	74,303	76,831	かなり良い	環境政策局
10	不用品リサイクル情報案内システム運用	7,706	6,516	悪い	環境政策局
11	京(みやこ)の環境みらい創生事業	32,964	16,901	かなり良い	環境政策局
12	各区環境パートナーシップ事業	12,513	10,707	かなり良い	環境政策局
13	小型家電リサイクル事業(小型家電リサイクルモデル事業)	8,579	14,048	かなり良い	環境政策局
14	包装材削減推進京都モデルの構築	19,720	19,902	良い	環境政策局
15	イベント等のエコ化の推進	12,908	13,730	かなり良い	環境政策局
16	「KYOTOエコマナー」の運用(「KYOTOエコマナー」の創設)	17,550	18,566	かなり良い	環境政策局
17	生ごみ3R推進事業	15,998	50,285	かなり良い	環境政策局
18	資源物の持ち去り禁止等啓発(パトロール(資源物の持ち去り禁止))	11,656	9,925	-	環境政策局
19	大型ごみのリユースモデル実施	11,108	20,833	良い	環境政策局
20	移動式資源回収モデル事業(資源ごみ等の“新回収システム”モデル事業)	20,028	39,151	かなり悪い	環境政策局
21	紙ごみリサイクル推進事業	-	13,527	-	環境政策局
22	事業ごみ減量、リサイクル促進普及啓発	73,503	68,528	かなり良い	環境政策局
23	産業廃棄物に関する社会意識の高揚	26,534	25,609	かなり良い	環境政策局
24	京都環境保全公社への府市協調支援	1,790,853	1,695,038	かなり良い	環境政策局
25	大岩街道周辺地域対策	15,102	26,647	かなり悪い	環境政策局
26	廃棄物排出事業者指導業務	222,938	199,820	かなり良い	環境政策局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・紙ごみやその他資源ごみを徹底的に分別する取組を実施していくとともに、生ごみ減量に向けた啓発を強化する等により、ごみの更なる減量と再生利用率の向上に努める。
- ・クリーンセンターの施設整備計画を進めていくことにより発電効率の向上に努める。
- ・以上のことにより、客観指標の目標達成と市民生活実感評価の維持、更なる向上を図る。

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築
-----	------	-----------------

指標名	一人一日当たりのごみの排出量（グラム）
-----	---------------------

担当課	循環企画課	連絡先	213-4930
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

一人一日当たりのごみの排出量(市受入量)

2 指標の意味

循環型社会の構築に向けた「ごみの発生抑制、再使用（2R）」の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	924	906	18グラム減	903	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	99.7%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		750グラム	32年度	79.2%	京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>

備考	数値の公表時期の関係により、評価は速報数値で行い、前回数値については実数に修正
----	---

5 評価基準

最新値－目標値が、
a：0グラム以下
b：0グラム超～56グラム以下
c：56グラム超～112グラム以下
d：112グラム超～167グラム以下
e：167グラム超

6 基準説明

当年度の目標値（903グラム）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>の基準年度（平成20年度）のごみ量（1,070グラム）を超えた場合をeとし、b～dは等間隔（56グラム間隔）で基準を設定

7 評価結果

	23	24
-	a	b

指標名	再生利用率（%）
-----	----------

担当課	循環企画課	連絡先	213-4930
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

ごみの総排出量に対する再生利用量の割合

2 指標の意味

循環型社会の構築に向けたリサイクルの推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	20.3	21.3	1.0ポイント増	22.9	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	93.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		31%	32年度	68.7%	京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>

備考	算定に用いるデータの収集時期の関係から、22年度数値が最新となる。
----	-----------------------------------

5 評価基準

目標値－最新値が、
a：0%以下
b：0%超～1.6%以下
c：1.6%超～3.2%以下
d：3.2%超～4.9%以下
e：4.9%超

6 基準説明

当年度の目標値（22.9%）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>の基準年度（平成20年度）の再生利用率（18.0%）を下回った場合をeとし、b～dは等間隔（約1.6%間隔）で基準を設定

7 評価結果

	23	24
-	a	b

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築									
指標名	ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)										
担当課	施設管理課		連絡先	212-9820							
1 指標の説明											
クリーンセンターにおけるごみ1トン当たりの焼却熱等による発電量											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
「適正処理とエネルギー回収の最大化」に向けて、ごみ1トン当たりの発電量を高め、天然資源の消費抑制を図る取組を示す指標			算出方法：全クリーンセンターにおける発電量÷焼却等処理量 出典：事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値 22年度	最新数値 23年度	推移	目標値							
	数値	数値		根拠	達成度						
数値	329	338	9(kWh/t)増	340	今後の焼却等処理量及び処理施設における技術の発展を踏まえ、平成32年度に目指すべき値(440kWh/t)に対する当年度の計画値	99.4%					
	全国順位	中長期目標			備考						
	数値	目標年次	達成度	根拠							
数値	440kWh/t	32年度	76.8%	京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>で掲げのごみ量等の目標数値から設定							
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：90%以上 b：90%未満～80%以上 c：80%未満～70%以上 d：70%未満～60%以上 e：60%未満		全クリーンセンターにおける発電量を焼却等処理量で除した値で評価する設定とした。基準区分に係る一般的な指標等は存在しないため独自設定とした。 目標の90%以上を達成したときをaとし、60%未満をe、b～dは等間隔で基準を設定した。 (参考) 平成21年度：342kWh/t 平成20年度：340kWh/t 平成19年度：370kWh/t		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </table>			23	24	-	a	a
	23	24									
-	a	a									